

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20(8)	コロナ禍が明けての家族との関わり方を考え、関係性の再構築を行うと共に社会との関係性が築けていない。	コロナ禍が明け家人とのつながりを持ち疎外感を感じさせない。入居者が地域とのつながりを持ちつつ暮らし続け事業所自体が地域の一員となる。	計画的に面会を増やし家人とのつながりを持っていただく。外出機会を増やし、地域の行事に参加し交流が図れる。	12ヶ月
2	4(3)	運営推進会議の実施が出来ておらず文書での報告になっている	一年間の計画を行い運営推進会議を開催する。	コロナ禍明けで状況に応じた対応を行い開催計画を実施する。	12ヶ月
3	13	認知症の理解が出来ていない職員と理解できている職員との格差がある。	入居者に合わせた対応方法を徹底し職員が同じ方向を持ち、入居者が安心・安全に暮らせる様ケアの質の向上を図る。(薬に頼らないケア)	職員に合わせた研修参加を計画する。各担当の入居者以外の情報を得る。事業所内での研修に参加出来ない場合はテスト方式で理解を得る。	12ヶ月
4	26(10)	サービス計画書を基にしたサービス内容が出来ておらず計画書を生かし職員全員が共有出来ていない。	計画書を理解しサービス内容を基にしたケアの実施出来る。	入居者おひとりお一人のアセスメントを再作成し情報を共有する。定期的な会議以外に問題が起きた直後に解決策を講じる。	12ヶ月
5					12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。